

2022年度事業報告書

自2022年4月1日 至2023年3月31日

特定非営利活動法人 スマイル オブ キッズ

1 事業活動方針

闘病中の子どもたちの基本的な権利が尊重され、最善の医療を受け日々の生活の質を向上させることができるよう、本人及び家族に精神的、物質的な支援をするとともに、闘病中の子どもたちの現状を広く社会に伝え、社会全体の子育て環境の改善に寄与した。

2 本年度重点項目

- ・患者家族滞在施設運営事業(①)
感染症の拡大防止に努め、利用者が安心・安全に過ごすことのできる環境を提供する。利用者の経済的負担の軽減のため、利用料金を引き下げる。
- ・保育事業(③)
研修会の参加や他団体との連携強化より、親と子双方が安心できる保育を実施する。
- ・難病の子ども達の課題を解決して行く為の支援事業(④)
きょうだい児支援に関するシンポジウムを開催し、支援の社会的周知と他団体との連携を図る。

3 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業

支出額：13,826,122円

ア 患者家族滞在施設「リラのいえ」運営事業

内容： 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業。滞在施設を適正に運営し、法人の責任をもち、利用者が気持ちにゆとりを持って看病に専念できるよう最適な環境を提供した。利用料金の引き下げを行い、利用者の経済的負担を軽減することができた。稼働率・利用者数はコロナ前の水準に戻った。運営面では、施設長の役割を分担し、複数名で引き継ぐ新体制への移行を進めている。ボランティアスタッフの交流会を複数回開催し、新体制や来年度の15周年記念事業について説明、活動参加の機会を設けている。

運営期間： 通年
従事者： 約70名
対象者： 病児とその家族
場所： 横浜市南区「リラのいえ」
利用者数： 4475名
平均稼働率： 74.8%

② 家族の交流の場の提供事業

支出額：1,044,023円

ア コンサートホールで生の音楽を聴くことのできない子どものための音楽会の開催

(公益財団法人原田積善会・公益財団法人神奈川県心身障害児福祉基金財団夏季レクリエーション活動費助成事業)

内容： 神奈川県内の特別支援学校の児童・生徒・卒業生を中心とした、障害のある子どもと家族のための音楽会を開催した。感染拡大防止対策を取り、3年ぶりに会場で開催した。感染症に不安のあるご家族のため、1日は無観客開催としてライブ配信でお楽しみいただいた。アーカイブ視聴も含め600回以上の再生があった。

開催日： 8月13日(無観客ライブ配信)・14日(有観客会場開催)
従事者： 11名
対象者： 障害のある子どもとその家族
場所： 横浜ラポールシアター

イ バザー開催

内容： バザー開催による地域との交流・広報活動。近隣地域にお住まいの方、全国の支援者から提供の多数の品物を販売した。感染拡大防止のため室内でのイベントは行わず、テラスのみで開催した。

開催日： 10月23日
従事者： 30名
対象者： 近隣地域の方・支援者・一般市民
場所： 横浜市南区「リラのいえ」
利用参加者： 約100名

③ 保育事業

支出額：6,719,050円

ア きょうだい児保育事業(横浜市の認可外保育施設として認証)

(公益財団法人公益推進協会For Children基金・一般財団法人日本おもちゃ図書館財団助成事業)

内 容： 医療センターへ入通院する病児のきょうだい児を保育士が預かり、保育した。きょうだい児が安全で楽しい時間を過ごし、病児家族が安心して病院へ向かえる環境を提供した。感染症の影響が長引く中、利用が増加する家族の負担軽減のため、利用料引き下げを継続した。年間利用者数は過去最高だった。医療センター内のきょうだい預かりボランティアグループとの連絡会では、センターでの預かり再開に向けた状況を共有し、利用家族への情報提供を行うことができた。

運営期間： 通年
従事者： 12名
対象者： 病児のきょうだいとその家族
場 所： 横浜市南区「リラのいえ」
年間利用者： 996名

イ 研修会等への保育士派遣

内 容： 医療センターが主催の、病児の家族や小児医療に関心のある方を対象とした研修会等でのきょうだい預かりに保育士を派遣する予定だったが、感染症の影響で保育は行われなかった。

④難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業

支出額：1,594,796円

ア 重症心身障がい児と家族への音楽支援

内 容： 12月10日にこども医療センター重心施設でのコンサートを予定していたが、感染症の影響により実施できなかった

イ チャリティーコンサートの開催

内 容： 小児医療を取り巻く環境で必要な支援をアピールするためのコンサートを開催した。会場席数の半分以下を定員として感染拡大防止に努めた。来場者に活動現場の様子をお伝えするため、リラのいえ利用家族による講演を行った。

開催日： 7月18日
従事者： 28名
対象者： 一般市民
場 所： はまぎんホールヴィアマーレ
参加者： 171名

ウ 病気や障害のある子どものきょうだい児支援事業

(かながわボランティア活動推進基金21助成事業)

内 容： きょうだい児を取り巻く環境や課題、必要な支援についての社会的周知、支援者同士の交流を目的としたシンポジウムを開催した。リラのいえを配信拠点としてオンラインで行った。きょうだい児保育室の紹介を行い事業の重要性を周知した。アーカイブ配信を行い、当日のレポート、アンケート結果をホームページで公開した。

開催日： 10月1日
従事者： 10名
対象者： 一般市民
場 所： リラのいえ
参加者： オンライン154名

エ 病児家族へのミールサポート事業

内 容： リラのいえ利用者に栄養バランスの取れた食事をお届けした。近隣の飲食店からの弁当の配達と、リラのいえで調理した食事の提供。今年度より月3回実施、より多くの利用家族に提供することができた。趣旨に賛同し調理や弁当配達を請け負う飲食店では、パンフレットの配布など活動の周知にも協力いただいている。

実施日程： 通年(月3回)
従事者： 各回約5名
対象者： 病児とその家族
場 所： リラのいえ

⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業

支出額：57,615円

ア 組織基盤強化事業

内 容： 団体の置かれた事業環境を分析するため、利用者アンケートを実施した。利用者情報のデータベース化を行い、過去5年分のデータから利用の傾向や利用料負担の軽減について数値化することができた。アンケートと利用状況のレポートを会報記念号に掲載するための準備を進めている。プロボノ支援や、県が実施するボランティア団体成長支援事業を受けて、組織体制と事業内容の改善を進めることができている。

従事者： 10名